

## 「第2次世田谷区教育ビジョン（素案）」パブリックコメント実施結果（案）

## 1. 実施概要

- ・期 間：平成25年9月25日（水）～10月15日（火）
- ・媒 体：区のお知らせ特集号（概要のみ）、ホームページ、出張所等（全文）
- ・受付状況：118人（意見件数：208件）  
ハガキ92人、封書3人、ファックス3人、ホームページ18人、電話2人

## 2. 反映状況

第2次世田谷区教育ビジョン（案）に反映したもの 49件  
策定の参考にしたもの 159件

## 3. 項目別内訳件数

項目	件数
第2次教育ビジョンの策定にあたって	15
教育目標・子ども像	2
今後10年間の基本的な考え方	10
3つの基本方針	15
6つの施策の柱	35
10年間の重点事業	54
4年間のリーディング事業	65
その他	12
合計	208

## 4. 意見概要及び教育委員会の考え方

（1）第2次世田谷区教育ビジョン（案）に反映したものの（49件）

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
第2次教育ビジョンの策定にあたって	5	
教師と児童が十分接することのできる余裕を与えること。また、児童の生活環境で、集団での遊びが可能な時間も必要である。	1	教員が子どもたちと接する時間を十分に確保し、教員の教育意欲を高めながら、教育ビジョンで育てたい子ども像の実現に向けて、質の高い教育を推進します。
教育ビジョンでは子ども達に自ら学び考え行動できる「自立力」、豊かな人間関係を深めていく「共生力」、高い志を持って夢に挑戦していく「自己実現力」の3つの力をはぐくみ、豊かで活力ある地域づくりに貢献できる「地域社会人」を育成すること。	1	教育目標の育てたい子ども像に「生きることを深く愛し、理想をもち、自らを高めようとする志をもつ子ども」「深く考え、自分を表現することができ、多様な文化や言語の国際社会で、世界の人々と共に生きることのできる子ども」などを掲げています。

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
平和で民主的なビジョンを。そして人権を重視する文化的な世田谷を。	2	本ビジョンでは人権尊重の精神を基調とし、すべての教育活動を通して人権教育を推進することを教育目標に明記しました。
「教育目標」、「今後10年間の基本的な考え方」、「3つの基本方針」、「6つの施策の柱」と展開されているが、これら相互に何らの関連づけも見られない。さらに、教育目標に掲げられた4つの子ども像は維持されるべき。「育てたい子ども像」に立ち返って、施策の柱を検討してほしい。	1	本ビジョンの構成を分かりやすく図示しました。また、4つの子ども像は教育目標の中で継承し、家庭教育への支援や生涯学習の充実など、これまでの学校教育中心のビジョンに広がりをもたせた事が特徴です。基本方針と整合する6つの施策の柱を設定し推進します。
教育目標・子ども像	1	
日本の情操、文化、伝統は、漠然として子どもには分かりにくい。むしろ、自分を育ててくれている地域に対して感謝し、地域づくりに参画する視点がもっと強調されてよい。	1	基本方針の第1に「地域とともに子どもを育てる教育の推進」を掲げ、世田谷らしい豊かな教育基盤を活かし、学校・家庭・地域が連携・協働し、地域とともに子どもを育てる教育を推進します。
今後10年間の基本的な考え方	5	
基本的な考え方や方針の中にはグローバルな視点も加えて欲しい。	1	基本方針2に「国際理解や環境に関する教育などを推進」することを明記しました。
今後10年間の基本的な考え方を「一人ひとりの多様な個性を伸ばし、社会をたくましく生きる力と、多様な人びとと理解し合い、協力し合う力を学校・家庭・地域が連携してはぐくむ」としてはどうか。	1	基本的な考え方には「一人ひとりの個性・能力を伸ばす」とともに、「互いを尊重し協調する」視点が含まれています。
今後10年間の基本的な考え方を「一人ひとりの多様な個性・能力を伸ばし、互いを尊重し、助け合い、社会をたくましく生き抜く力を、学校・家庭・地域が連携してはぐくむ」としてはどうか。	1	
「生き抜く力の育成」では、区民が行政のサポートなしに自立した人間として生きることができないかのような印象を与えている。	1	「生涯を通して、自ら学び、その成果を発揮し豊かな人生が送れるよう」に表記を修正しました。豊かな人生を送ることのできる生涯学習社会をめざします。

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
「学校・家庭・地域との連携」の中の「子どもたちの教育ニーズ」は、「子どもたちの親の教育ニーズ」に他ならない。ビジョン策定にあたっては、「公教育の本質とは何か」を検討してほしい。専ら個人の資質だけを上げる方向性は、公教育の本質と合致するのか。	1	「子どもたちの教育ニーズ」を削除し、「教育に関する家庭や地域の声に応じていく」ために、「地域と一体となって豊かな教育の場をつくりだしていく」としました。今後とも、地域とともに子どもを育てる教育を推進します。
3つの基本方針	6	
グローバルな時代をたくましく生き抜く力をはぐくむ教育を望む。	2	「世田谷9年教育」を推進し質の高い教育の実現を図ることにより、自ら課題を見つけ、自ら学び考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育て、教育目標の育てたい子ども像「世界の人々と共に生きることのできる子ども」を育成します。
今後の日本人の活躍にとって国際化を加速させる必要は欠かせない。世界史、芸術、外国語に触れ合う機会を増大し、「世界へと目を開かせる教育」を推進する。	1	行動計画案の「これからの社会を生きる力の育成」で、世界の人々と共に生きていくことのできる資質・能力の基礎を育成する国際理解教育に取り組み、多様な文化に触れる機会の工夫や海外派遣事業を進めていきます。
基本方針2を「互いを尊重し、助け合い社会を生き抜く力の育成」としてはどうか。たくましいだけでは自分だけとなり競争主義は変わらず、相互の人格の尊重を育成しないといじめになってしまう。	1	基本方針2では「他者や他世代、自然などのかかわりやつながりをもつ」視点を加え、他者と協調しながら社会性をはぐくむ教育を推進します。
子どもたちの考える力を養う教育を推進すること。	1	基本方針2では「自ら課題を見つけ、自ら学び考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」の基盤となる「豊かな人間性」「豊かな知力」「健やかな身体・たくましい心」をバランスよくはぐくんでいきます。
基本方針に賛同し、「生涯を通じた学びの充実」を図るよう要望する。	1	重点事業「新中央図書館機能・ネットワークの拡充」の中で、地域に開かれた「学びと文化をはぐくむ場」としていきます。具体的には平成26年度策定予定の新たな図書館ビジョンで明らかにしていきます。

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
6つの施策の柱	1	
「家庭における豊かな親子関係づくりや家庭の教育力向上をめざします」とあるが、これらのことに行政が介入すべきではない。価値観の植え付けは多様性の否定、差別の助長、人権の軽視につながる。	1	「家族における豊かな親子関係づくりや、家庭の教育力の向上のための支援を充実させていきます。」に表記を修正しました。家庭環境の多様化や子育て家庭の孤立化など、個々の家庭の力だけでは家庭教育を行うことが困難になってきている社会環境の中で、行政が各家庭に具体的な教育の内容を押し付けることがないように、家庭の自主性を尊重しながら、親子の育ちと学びを支える家庭教育支援の取り組みを進めていきます。
重点事業	8	
地域の人材を活用しきれていない。運用、活用の仕方を再考してほしい。	1	行動計画案の「地域が参画する学校づくり」の中で、学校と地域の人材をつなぐ仕組みなど学校を支援する体制を検討し、地域との連携・協働による教育を推進します。
「世田谷9年間の教育」は小中学校の教員の多忙過酷な勤務状況に対する無視、無関心で考えられている。まず教職員がゆとりある勤務ができる環境を整備することが重要。	1	4年間のリーディング事業「教員が子どもとかかわる時間の拡充」の中で、教員の事務的な負担軽減を図り、教員が子どもたちと向き合い十分なコミュニケーションがとれる時間の確保を図ります。
特別支援教育について、都立の特別支援学校等としっかりと連携して子ども達の為になるようにしてもらいたい。	1	今後とも、都立の特別支援学校等と連携し、特別支援教育の充実を図っていきます。
社会が複雑化する中、学校での子ども達のコミュニケーションは昔より難しいものとなっており、不登校児は稀有な存在ではない。行き場がなく絶望を感じている子達に対し、受け皿となる場所作りの検討を切に願う。	1	不登校の状態にある児童・生徒を対象に、対人関係や集団生活への適応力を養い、学校復帰を支援する「ほっとスクール」を区内に2箇所設置しています。行動計画案の「ニーズに応じた相談機能の充実」の中で、第3のほっとスクールの設置など不登校の児童・生徒の支援の充実を検討します。

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
二子玉川のライズ方面に図書館を作って欲しい。児童図書館でもありがたい。できれば、環八を渡らずに行ける児童館も。	2	二子玉川には図書館を補完する図書館ターミナルの設置を平成27年度に予定しています。児童館については、これまで、児童の人口や地域の諸条件を勘案し25の児童館を設置し、概ね整備されている状況にあると考えています。玉川地域には、等々力児童館・玉川台児童館・森の児童館・鎌田児童館を設置していますので、これらの児童館をご利用ください。
図書館に教科書(国語、社会、歴史など)を常備して誰でも手にとることが出来るようにしてほしい。	1	区立小・中学校の教科書については、区立図書館に資料として常備しており、どなたでも閲覧ができます。
何ものにも代えがたいのは「精神」や「尊さ」ではなく「人権」と「生命」である。表現の検討を。	1	「何ものにも代えがたい「人権」や「生命」の尊さを重んじる精神は」に表記を修正しました。
4年間のリーディング事業	19	
マナーを守る習慣や常識の教育に重点をおき、子どもの時から優しい心を養う教育をして欲しい。	4	行動計画案の「豊かな人間性の育成」の中で、道徳教育を充実し、人間性・道徳性ととともに、市民としてのよりよい生活習慣や規範意識などをはぐくんでいきます。
いじめをなくす教育が第一。それと万引きをなくすこと。	1	行動計画案の「豊かな人間性の育成」の中で、いじめ防止等の総合的な推進に取り組んでいきます。
国際社会と協調・共存しながら逞しく生き残れる日本人を育てないと世界から取り残される。徹底的な英語教育、特に会話力と文章作成能力を身につけさせよう。	2	行動計画案の「豊かな知力の育成」の中で、実践的なコミュニケーションを通して英語に親しむとともに積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る取り組みなど、英語教育を充実します。
「世田谷9年教育」への各学校の取組に進展が見られない。小中の縦の学びの研究を深められたい。	1	「世田谷9年教育」は平成25年度に本格実施し、各学校や「学び舎」で特色ある取り組みを進めています。リーディング事業の「『世田谷9年教育』の定着と質の向上」では、「世田谷9年教育」を定着させ、より質の高い学校教育を推進するための学校経営等のモデルとなる「世田谷マネジメントスタンダード」の整備・確立に取り組んでいきます。

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
全てに共通する国語力、正しい日本語を徹底的に教育すべき。	1	世田谷区独自の教科「日本語」の授業では、ことばをすべての知的活動の基盤、考える基盤と捉え、「世田谷区教育要領」に位置付けて、深く考え、自分の考えや思いを表現することができ、日本文化を理解し大切にする子どもの育成を図っています。行動計画案の「これからの社会を生きる力の育成」の中で、教科「日本語」の一層の充実に取り組んでいきます。
たくましさとともに弱者への思いやりの心やさしさをはぐくむことが大切。盛り込んでほしい。	1	基本的な考え方には「一人ひとりの個性・能力を伸ばす」とともに、「互いを尊重し協調する」視点も含まれています。また、行動計画案の「豊かな人間性の育成」の中で、人権教育や道徳教育を充実し、生命の大切さや他者を思いやる気持ちなどをはぐくんでいきます。
人間の尊厳について、教育の現場で力を入れて教えてほしい。他を思いやる心、自分とは異なった人や存在(障がいを持つ方、生活習慣・価値観の違う人、自然や動物など)を大切に、理解する力を育むことにも力を入れてほしい。	1	行動計画案の「健やかな身体・たくましい心の育成」の中で、望ましい食習慣を形成するために、食に関する指導の充実など食育の推進に取り組んでいきます。
生活習慣病の重要さを学ぶことは価値がある。	1	行動計画案の「豊かな知力の育成」や「これからの社会を生きる力の育成」の中で、理数・英語教育の充実、ICTを活用した授業の推進、国際理解教育の推進などに取り組んでいきます。
数理と独立心、そして世界の中で生きることが求められる。英語教育の充実、ICT教育の徹底、国際社会で自分の主張をしっかりと述べる個性、独立心、相互尊重を養うことが求められる。	1	行動計画案の「豊かな人間性の育成」の中で、保健、福祉などの関係機関等との連携、ネットワークの強化を図りながら、いじめ防止等の総合的な取り組みを推進します。
いじめ問題は様々な職種がしっかりと連絡を取って対応することがベスト。子ども達の未来が明るくなる様に願う。	2	区立学校の教育活動や学校運営の質を高めるには、教員の資質・能力の向上が不可欠であると考えています。行動計画案の「教員の資質向上のための支援」の中で、教職員の研修・研究体制の充実を進め、教員の資質・能力の向上を図ります。
教育する側の人格形成、指導者にふさわしい教育者の育成もあわせて検討して欲しい。	1	

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
<p>新たな幼児教育センターが区民の期待に応え意義の高い機能を発揮するためにも、教育現場での豊かな経験・知識を持つ教職員の意見が十分に反映されるシステム作りがまず必要。今後の検討体制において、早い段階から現場の教職員が参画できるよう、検討を。</p>	1	<p>教職員の研修・研究のセンター的機能や学校支援機能など、新たな教育センター機能のあり方の検討を踏まえて、幼児教育センター機能の整備に向けた検討を進めます。検討にあたっては区立幼稚園の教職員等関係者にも参加をいただくことを考えています。</p>
<p>急激なITの進展（PC、スマートフォン）に対応する適切な教育が無い。IT化の先頭を切り子供を導ける教師自体を育てる必要がある。</p>	1	<p>行動計画案の「豊かな知力の育成」の中で、ICTを活用した授業を推進し、教員のICT活用能力の向上、児童・生徒の情報活用能力の育成、ネットリテラシーの醸成等を図ります。</p>
<p>いじめや不登校の解決には「教員を煩雑な校務から解放し、子供ともっとかかわる時間を確保する」ことなどが重要、ということの説明し、事業全体に対する理解を求めることが必要。</p>	1	<p>4年間のリーディング事業「教員が子どもとかかわる時間の拡充」の中で、教員の事務的な負担軽減を図り、教員が子どもたちと向き合い十分なコミュニケーションがとれる時間の確保を図ります。</p>
<p>その他</p>	4	
<p>今の社会ではFB（フェイスブック）、LINE（ライン）が子ども達に広がっているが、とても心配。</p>	1	<p>区立中学校1年生を対象にインターネット、ソーシャルメディア等との上手な付き合い方、注意点などの講義を行い、ネットリテラシーの醸成を図っています。今後も情報モラルにかかわる取り組みを進めていきます。</p>
<p>今子どもが学ぶべきは、ネットに対する警戒。自分や友達、同級生の情報や映像を一般の目にさらさない。</p>	1	
<p>今子どもが学ぶべきは、自転車を自分も他の人も安全に乗ること。決して飛び出さず、一旦停止。横列をつくらない。日が暮れたら点灯。横断歩道は押して歩くかスピードを落とすなど。</p>	1	<p>自転車利用に係るルールやマナーなど、子どもたちが交通ルールを守るための取り組みは学校のセーフティ教室等で実施しています。今後とも、行動計画案の「地域が参画する学校づくり」の中で、地域と連携した児童・生徒の安全対策の推進に取り組んでいきます。</p>
<p>小学低学年からの性教育をもっと充実して進めてほしい。人間尊重につながる。</p>	1	<p>教育目標の中で、お示ししていますように、人権尊重の精神を基調としてすべての教育活動を推進してまいります。また、発達段階に応じた性教育を行ってまいります。</p>

( 2 ) 第 2 次世田谷区教育ビジョン ( 案 ) の参考としたもの ( 1 5 9 件 )

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
第 2 次教育ビジョンの策定にあたって	1 0	
フィンランドの学習及び教育制度を研究してはどうか。	1	国外の先進的な教育政策等も参考にしながら世田谷区でより効果的な教育施策を推進していきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
教育は教育基本法の改悪でその基盤がすでに揺らいでいる。教育委員会自体が首長管理へと改悪されようとしている。家族の教育力向上とは何であるのか。教員の状況は悪化するばかりではないか。教科書選択権さえ失われている。そのような状況に今回のビジョンはどのような提案を示しているのか。	1	急速に進展する少子高齢化や高度情報化、経済・社会のグローバル化などに、家族形態や地域社会の変容なども加わり、教育を取り巻く環境が大きく変化していく中で、「一人ひとりの多様な個性・能力を伸ばし、社会をたくましく生き抜く力を、学校・家庭・地域が連携してはぐくむ」ことを基本的な考え方として質の高い教育を推進します。
まだ素案なので具体的なものは分からない段階だが、ビジョンについてはほぼ賛成、実現できれば素晴らしいと思う。	1	今後とも、教育目標の育てたい子ども像の実現に向けて、質の高い教育を推進していきます。
一番の主演である子どもたち自身に、自分たちの教育をどうしたらよいのか真剣に考えさせ、結果を発表する機会を設けること。計画には子どもたちの意見を反映させてほしい。	1	子どもたちが自ら考え意思表示をするなど、子どもたちの区政への参加は大変重要であると考えています。いただいたご意見を参考に、今後の課題とさせていただきます。
中央政府の舵取りに期待できない今、世田谷区は世田谷区で独自の教育哲学を打ち立てる必要がある。ハコモノを構想することももちろん良いが、このようなパブリックコメントのプロセスを通して区民の意思統一を図ることこそ大切。	1	本ビジョン案は、区議会でのご意見やパブリックコメントでいただいたご意見等を参考にし、学校長、PTAの代表者や学校関係者等を構成員とする策定委員会で作成しました。今後とも、さまざまな場面で区民の方々からご意見を伺い、取り組み内容等広く情報提供を図りながら、教育ビジョンの実現をめざしていきます。
きれいにまとまっているが、具体性に欠ける気がする。あれをやろう、これもやろうと、てんこ盛りにして、結局気がついたら忘れられてしまう文章になっていた。	1	基本的な考え方を「一人ひとりの個性・能力を伸ばし、社会をたくましく生き抜く力を、学校・家庭・地域が連携してはぐくむ」とし、学校教育・家庭教育への支援・生涯学習の充実に取り組んでいきます。



意見の概要	件数	教育委員会の考え方
子どもにひもじい思いをさせない、五体満足に健康に暮らす事が大事であり、地域で助け合う環境が必要。	1	基本方針の第1に「地域とともに子どもを育てる教育の推進」を掲げ、世田谷らしい豊かな教育基盤をいかし、学校・家庭・地域が連携・協働し、地域とともに子どもを育てる教育を推進します。
ビジョンの策定は、教育委員会の職務権限に属することで、区長が区民に意見を求めるのは越権行為なのでは。	1	区民意見提出手続(パブリックコメント)は、区の主要な計画や条例等を策定する際に、素案等の段階で区民の皆さまからご意見をいただき、策定にいかすとともに、集約したご意見と区の考え方を公表する制度です。教育委員会事務局あてにご意見等をいただき、教育委員会で教育ビジョンを策定します。
第1次教育ビジョンの総括がされていないので、第2次教育ビジョンを決める意味がわからない。それに、現場の先生方の意見がきちんと反映されているのかも疑問。教育委員会の仕事を作るための計画としか思えない。	2	第1次教育ビジョンの取り組みについては毎年教育委員会事務局が自ら点検及び評価を実施し、区民に公表しています。本ビジョンの作成にあたり、学校長代表や保護者等の代表を構成員とする策定委員会でこれまでの取り組み内容等も踏まえ議論を重ねてきました。
教育目標・子ども像	1	
教育目標も、いっきに頂上をめざすのではなく、少しずつ目標を高めていくやり方もある。「美しい風土によって云々・・・」と云うのも3・11や自然の破壊がよく見えるこの時期に環境破壊の意味する学習など、きちんと出来ると思う。	1	教育のめざすものは、人格の完成、「人」づくりです。教育目標を継承し、今後10年間の基本的な考え方に基づき、実現に向けた取り組みを平成26年度～29年度を計画期間とする第1期行動計画で推進します。
今後10年間の基本的な考え方	5	
今後10年間の基本的な考え方を「自分の誇りと志を大切にし、ほかの人たちの誇りと志を尊重する人を育てよう」としてはどうか。人間にとって命よりも大切なものは誇りと志。人は、屈辱と絶望の中では生きることが出来ない。一人ひとりの誇りと志を大切にし、学校、家庭、地域でそれを大きく伸ばしていく手助けをすることが教育の使命。	1	基本的な考え方には「一人ひとりの個性・能力を伸ばす」とともに、「互いを尊重し協調する」視点が含まれています。多様性を尊重し一人ひとりの個性・能力を活かして教育目標の育てたい子ども像「理想をもち、自らを高めようとする志をもつ子ども」を育成します。

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
たくましく生き抜く力になぜ「社会を」と目的の限定をするか。「社会を」は不要。	1	社会は人と人とのつながりによって構成されることから、基本的な考え方の「社会を」には「他者と協調する」意味も含まれています。多様性を尊重し一人ひとりの個性・能力を活かして教育目標の育てたい子ども像の実現に向け取り組んでいきます。
「一人ひとりの多様な個性、能力を伸ばし・・・」という基本的な考え方には大賛成。平均的教育は能力のある子、特殊な分野に才能のある子にとってプラスにならない。	1	多様性を尊重し一人ひとりの個性・能力を活かして教育目標の育てたい子ども像の実現に向け取り組んでいきます。
「対象者」が子どもなのか成人なのか定まっていない。	1	本ビジョン案は、第1次教育ビジョンの教育目標を継承し、家庭教育への支援や生涯学習の充実など、これまでの学校教育中心のビジョンに広がりをもたせた事が特徴です。対象者は子どもを中心に区民全般としています。
グローバル社会にあっては、自立や主体性、自己主張といったものを強調しなければならないとされているが、本当にそれは真実なのか。一見もっともらしく思われることに疑問を呈するのも教育行政の役割。	1	教育目標の中で、グローバル社会で活躍するための資質・国際感覚、自ら考え、解決に向けて行動する力などを身に付けた人を育成することが重要であるとの認識にたつて、教育目標の育てたい子ども像を継承し、それぞれの資質・能力をバランスよくはぐくんでいきます。
3つの基本方針	9	
3つの基本方針を定めている意味がわからない。	1	教育目標を達成するために、対応する基本方針を定め、基本方針は施策の柱と、各行動計画につながり、事業を推進します。
素案の文中に「民主的」「文化的」「平和」等の語は皆無である。教育のキーワードとも言えるこれらの語を避けているのは何故か。基本方針1を「地域とともに子どもを育てる民主的で文化的な教育の推進」としてはどうか。	1	教育目標の中で、「世界の人々とともに生きることのできる自立した個人の育成」や「新しい豊かな文化の創造をめざす」教育を推進することを明記しています。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
<p>住みよい世田谷区をつくるためにも、3つの基本方針2の「社会を生き抜く力の育成」はいけない。</p>	1	<p>「社会をたくましく生き抜く力」は、自ら課題を見つけ、自ら学び考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する資質や能力などを育てることを表しています。今後とも、学校・家庭・地域の世田谷らしい豊かな教育資源や基盤などを活用しながら、地域とともに子どもを育てる教育、地域とともにある学校づくりを推進します。</p>
<p>ITのスキルは欠かせないものになっていくので、インターネットを使った学校のホームページ作成を生徒がやるといい。その種の仕事に従事している父母からボランティアでなく有償で募り、地域の人材を活用する意味あいでもあっている。</p>	1	<p>ICTの活用には教員の能力向上が不可欠です。教員の研修・研究を充実し、質の高い学校教育を推進します。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>教育を考えると教師の質を高める環境整備も必要。教師になるには『短大、大学を卒業して社会で5年以上活躍した者』としたらいかか。「多様な個性」「社会を生き抜く力の育成」など教育ビジョンに対応する質となる。</p>	1	<p>教員の採用や区への配置の制度の中で制限はありますが、教職員の研修・研究環境及び学校への支援体制の充実に向け、新たな教育センター機能のあり方や整備の方向性等について検討していきます。</p>
<p>現在、日本人で世界に学ぶ人たちが減っている。中国に比べれば圧倒的に少ないが、韓国に比べても少ない。奨学金を出して、海外で勉強、研究させることは有益。</p>	1	<p>国際理解教育を進め、さまざまな国や地域の人々との交流などを通して多様な文化に触れる機会の工夫や小・中学生の海外派遣事業で、教育目標の育てたい子ども像「世界の人々と共に生きることのできる子ども」を育成します。</p>
<p>グローバル化と言って英語教育の推進ばかりではなく、言葉はあくまでツールに過ぎず、それを使ってどうするかに先ず重点を置き、難民問題の映画やドキュメントの鑑賞など、視聴教育を上手に取り込み、中身ある国際感覚の育成を行って欲しい。</p>	1	<p>英語教育では、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るイングリッシュタイムの実施など充実を図り、子どもたちの英語の力を伸ばします。 また、国際理解教育を進め、さまざまな国や地域の人々との交流などを通して多様な文化に触れる機会の工夫や小・中学生の海外派遣事業で、教育目標の育てたい子ども像「世界の人々と共に生きることのできる子ども」を育成します。</p>

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
<p>素案の中に、学校教育現場でのデジタル教科書・教材の活用や、ICTリテラシー教育についての具体的な記述があまり見られない。区全体をあげてのデジタル活用による教育の底上げと、子ども達の能力開発を目指すという視点を、今回の教育ビジョンへ盛り込んでもらいたい。</p>	1	<p>行動計画案の「豊かな知力の育成」で、急速に発展する情報・ネットワーク社会に対応するための情報活用能力や、情報社会のルールやマナー、セキュリティの重要性を理解するための情報モラル教育の充実に取り組んでいきます。</p>
<p>素案の中に、中央図書館と学校現場との連携が盛り込まれているが、デジタルを活かした教育環境の充実と、それを十分に使いこなすためのICT教育とのセットでなければ、十分な成果をあげられるものとはならない。</p>	1	<p>基本方針2「これからの社会を生き抜く力の育成」の中で、ICT化の対応など、次代へつなげる教育環境の整備に積極的に取り組みます。また、行動計画案の「豊かな知力の育成」で、ICT教育の充実に取り組んでいきます。</p>
<p>6つの施策の柱</p>	3 4	
<p>「施策の柱」としては、もう少し大きなカテゴリーで設定し、ビジョン素案で掲げられた各柱については、行動計画の方に階層を落として検討していくべき。</p>	1	<p>本ビジョン案は、第1次教育ビジョンの教育目標を継承し、家庭教育への支援や生涯学習の充実など、学校教育中心のビジョンに広がりをもたせた事が特徴です。基本方針と整合する6つの施策の柱を設定し、さらに各行動計画につなげ、事業を推進します。</p>
<p>具体例として、主に老人(ボランティア)による「囲碁指導、交流の場」を提案する。世代・年代を超えた交流は双方にメリットがある。</p>	1	<p>世田谷らしい豊かな教育資源や基盤などを活用しながら、各学校の特色ある活動の中でさまざまな交流事業を検討していきます。</p>
<p>自治体側でいくら発信しても、受信する側(保護者)のアンテナが立っていないと広く伝わらない。保護者や地域の教育参加やボランティア活動を推進していくとのことだが、一部の積極的な人々を除く多くの人々を動かすには今までのような働きかけ(ただの説明会や説明文の配布)では難しい。</p>	1	<p>地域にはこれまでも学校を支えるさまざまなボランティア組織があり、その役割も構成も異なるため、参加の機会や活動内容が保護者や地域の方に浸透していないことも考えられます。リーディング事業に掲げた「地域の教育力を活かした学校支援の推進」では、こうした関係を整理し、効果的に保護者や地域の方が参画しやすい体制づくりを進めていきます。</p>
<p>新しい施策の柱のうち、1と2と6の柱が地域と関わり深いものと思われるが、具体的に地域に何を望むのか。</p>	1	<p>地域にはこれまでも学校を支えるさまざまなボランティア組織があります。学校活動を支えるとともに、地域の核となるコミュニティづくりにつながることを支援していきます。</p>

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
「地域との連携・協働による教育」の教育とはなにか。幼児、学校、社会 その全てか。	1	学校教育、幼児教育、家庭教育、社会教育など全ての教育活動が当てはまるものと考えています。学校・家庭・地域が連携・協働して、地域とともに子どもを育てる教育、地域とともにある学校づくりを推進します。
施策の柱の1番目は、「地域との連携・協働による平和で民主的な教育」と書き改めて理想の実現に向かうビジョンを描くべき。	1	教育目標の中で、「世界の人々とともに生きることのできる自立した個人の育成」や「新しい豊かな文化の創造をめざす」教育を推進することを明記しています。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
「学校と地域の連携」がさげばれて永いが、「PTAと地域の連携」の不足。PTAも地域の一員であることを自覚してほしい。そのような文言を入れてほしい。	1	リーディング事業に掲げた「地域の教育力を活かした学校支援の推進」では、学校を支えるさまざまな組織の関係を整理し、保護者や地域の方が参画しやすい体制づくりを進めていきます。
子どもの将来は、家庭の経済状況、母親の方針、生活態度に左右され、良い塾を経験したか否かにかかる。「6つの施策の柱」の中に学校と塾との連携を明記することを提案する。	1	教員一人ひとりの指導力の向上を図るために教員の研究・研修機能の強化や専門的に優れた力を持つ方々の活用に取り組んでいきます。また、教育委員会では全区立中学校3年生より希望者を対象に土曜講習会を実施しています。
区の運営による機会を平等とする幼稚園を存続し、こども園になった場合も現行の内容を変更せず、希望者全員の受け容れを原則としてほしい。	1	平成26年度中に策定予定の「区立幼稚園用途転換等計画」では、認定こども園については、幼保連携型認定こども園への移行を基本としています。定員数等は幼稚園の充足率を基本に保育サービス待機児の状況等を踏まえ検討していきます。
「家庭における教育力向上への支援」の具体性が不明。教育力とは何を指すのか、支援の具体性も不明。	1	家庭教育の自主性を尊重しつつ、幼稚園、小・中学校PTAによる「家庭教育学級」の開催など家庭の教育力向上のための支援を進めていきます。

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
<p>「家庭の教育力の低下が問題になっている」との捉え方は、学校・家庭・地域3者の連携・協働を促す方向では絶対に働かない。</p>	1	<p>基礎的な生活習慣の獲得など、子どもの発達成長にとって家庭における教育は教育の原点であり、とても大事なことです。地域との連携・協働により、子育てを支えるつながりを広げ、地域社会全体で子育て家庭を支援するしくみをつくることによって、豊かな家庭教育を行うことが出来るような取り組みを進めていきます。</p>
<p>6つの施策の柱はよいが、具体性に欠ける。9年教育の中でボランティア活動を義務化して社会との協調を図る教育がいい。</p>	1	<p>中学校の総合的な学習の時間や生徒会活動の中で、ボランティア活動などの社会参加に取り組んでいます。行動計画案の「これからの社会を生きる力の育成」の中で社会体験活動やボランティア活動を通じて、社会性をはぐくみ、社会の構成員としての自覚や他者を思いやる心などを育成します。</p>
<p>世田谷9年教育における質の高い学校教育とは。多くの親は、いじめや不登校がなく、安全で安心して生活できる学校、子どもが明るく元気に登校し、充実した学校生活を送れる学校であれば、高い学費を出して私立校に進学させない。教育のベースである、徳育・体育の充実の上に知育(生きるための知恵・地域の教育)を行ってほしい。</p>	1	<p>「世田谷9年教育」では「豊かな人間性(徳育)」「豊かな知力(知育)」「健やかな身体(体育)」をバランスよく育成し、質の高い義務教育の実現をめざしています。施策の柱「信頼と誇りのもてる学校づくり」を推進し、魅力ある学校づくりを進めていきます。</p>
<p>質の高い教育の維持・向上するため、教員の数を増やし、北欧並みの少人数学級の実現を。</p>	1	<p>チームティーチング等を行う講師を活用し、学校の創意工夫により、個に応じたきめ細かな少人数教育を推進します。</p>
<p>「質の高い教育」を具体的にどのように達成するのか不明。</p>	1	<p>引き続き、「世田谷区教育要領」に基づく教育活動を推進するとともに、「世田谷9年教育」を定着させ、質の高い教育を実現するために、「学校経営」のモデルとなる「世田谷マネジメントスタンダード」の整備・確立など、各行動計画案の取り組みを進めていきます。</p>

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
<p>10年間の基本的な考え方にもある「たくましい心」とはどのような心を意味するのか。たくましい心を育てることで教育目標の達成が可能なのか。</p>	1	<p>「健やかな身体・たくましい心」は、「豊かな知力」「豊かな人間性」とともに、子どもたちが変化の激しいこれからの社会を生き抜いていくための基礎となる資質、能力や心情と考えています。教育委員会では、4年間のリーディング事業である「世田谷9年教育の定着と質の向上」や「体力の向上と心身のたくましさの育成」などの中で「健やかな身体・たくましい心」をバランスの良くはぐくむための取り組みの推進を図っていきます。</p>
<p>「『世田谷9年教育』で実現する質の高い教育の推進」の中でインクルーシブ教育にも触れられているが、区の財政、人員の問題を考えると早期の実現は困難。現段階で盛り込むことが妥当か、さらなる検討を要する。</p>	1	<p>行動計画案の「特別支援教育の充実」の中で、国や都の動向を踏まえ、今後の特別支援教育のあり方について検討し、その検討を踏まえて取り組みを進めていきます。</p>
<p>私立学校という厳しい環境で経験を重ね、実績をあげている人材を入れていかないと役所的な組織、機能しか果たせない。本当に子ども達のことを考える人の集まりであってほしい。</p>	1	<p>施策の柱「信頼と誇りのもてる学校づくり」の中で教員一人ひとりの指導力の向上に取り組み、質の高い義務教育の実現を図っていきます。</p>
<p>より向上した教育委員会になってほしい。6、3、3制度のままで良い。土曜日午前中授業を毎週始めてほしい。</p>	1	<p>教育委員会では原則として8月を除く第2土曜日を授業日としています。土曜日授業や6・3・3制の義務教育制度の改革等については、国の動向等を注視していきます。</p>
<p>担任の先生によって子ども達、クラス全体の雰囲気に影響することが多い。学校にはカウンセラーがいるが、先生に対するカウンセリング等も取り入れるとよい。</p>	1	<p>教職員の研修・研究体制の改善充実を進め、教員の資質・能力の向上に取り組みとともに、学校への支援体制の充実、教育相談体制の強化を図ります。</p>
<p>さまざまな問題をかかえた家庭や子どもらへの早い時期のサポートが大事。それには、強いリーダーシップのとれる魅力・元気あふれる教師を1人でも多く育てることが望まれる。</p>	1	<p>行動計画案の「教員の資質向上のための支援」の中で、教職員の研修・研究体制の充実を進め、教員の資質・能力の向上を図ります。</p>
<p>各学校にカウンセラーを常勤で1校1名配置。毎日、その学校に決まったカウンセラーがいて、全校の子ども達の顔も名前も知っているそんな人に子どもや父母、教師は相談したい。</p>	1	<p>行動計画案の「ニーズに応じた相談機能の充実」の中で、教育相談室の心理教育相談員やスクールソーシャルワーカーと連携した学校内外の教育相談体制を強化し、児童・生徒・保護者の主体的な問題解決を支援します。</p>

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
教育委員会の改革がなくなったのはなぜか。	1	開かれた教育委員会の推進に向け、引き続き教育委員会の改革に取り組みます。
学校づくりの学校は公立校か。	1	本ビジョンで対象となる学校は公立学校です。
「信頼と誇りのもてる学校づくり」の中で、「信頼」と「誇り」が関係者相互間で醸成される観点がビジョン素案には見られない。	1	基本方針の「地域とともに子どもを育てる教育の推進」の中で、学校・家庭・地域の連携・協働を示しております。今後とも地域の学校運営への参画を充実するなど地域とともにある学校づくりを進めていきます。
通学路であるにもかかわらず、ガードレールもなく歩道のど真ん中に電信柱がたっていたりと、歩行が困難な箇所が多い。最近暴走車が通学途中の児童に突っ込む事故も多く、保護者として非常に不安。	1	通学路に関する安全対策は学校、警察署、道路管理者、PTA、地域住民等と連携し、必要な安全対策を図っていきます。
区立学校校門に警備員常駐、もしくは不在時は閉門を希望する。	1	行動計画案の「地域が参画する学校づくり」の中で、子どもたちが事件や事故に巻き込まれないよう、学校・家庭・地域が連携し、校内や通学路等の安全対策や事故防止などを強化します。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
まずは、安全・安心に通学できるかどうか。細く危ない道を30分歩いて通わなければならない子どもがいる。「学区」についてどう考えているのか。	1	世田谷区では、地域とともに子どもを育てることを第一に、学校選択制ではなく、学区域制をとっています。現在の学区域については、長い経緯の中で、現在の学区域になっています。今後とも、児童の登下校につきましては、学校、警察、PTA及び地域との連携、協力を基にしながら、通学路の安全確保を図っていきます。
「安全安心と学びを充実する教育環境の整備」の教育環境とは何をさすのか。	1	子どもたちが日々学び、生活する場である学校教育施設をさしています。子どもたちのより良い教育環境の実現をめざし、施設整備や区立学校の適正規模化・適正配置の取り組みを推進します。



意見の概要	件数	教育委員会の考え方
<p>学校環境の整備もハード面に重点が置かれている。お金をかけなくても地域の人的資源を有効利用するための広報活動、リサーチをもう少し考えてみては。子どもにとって体を動かすことや遊びを通じての心の育成をもって大切にし、力を入れて欲しい。区長部局と教育委員会の連携だけではなく、他の部局（スポーツ振興、地域振興など）とも区全体で連携して子どもを育てようという気運をつくっていくべき。</p>	1	<p>行動計画案の「地域コミュニティの核となる学校づくり」の中で、学校施設の開放や地域スポーツクラブ等との連携など、学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの健全育成につながる活動等を支援していきます。</p>
<p>中学生が何気におしゃべりしたりできる場所が必要。各学校に1ヶ所位の割合で談話室を作ってほしい。</p>	1	<p>中学生などの若者の居場所づくりは区基本計画にも位置付けて全区的な課題として取り組んでいきます。</p>
<p>小学校中高学年が、夏休みや放課後参加できる催し(おけいこ)が増えてくれるとうれしい。</p>	1	<p>夏休みや冬休みなどの学校が長期休業となる期間の前に、子どもたちが参加できる催し物の情報をまとめた冊子を発行しています。参加機会や活動場所等について、情報発信や取り組みの充実に努めます。</p>
<p>「生涯を通じて学びあう地域コミュニティづくり」に、区が、どう旗を振ろうと言うのか。</p>	1	<p>区では総合支所などでさまざまな生涯学習セミナーや講座等を実施し、区民が参加し学ぶことのできる機会を提供しています。行動計画案では、施策の柱「生涯を通じて学びあう地域コミュニティづくり」の中で、学びの場と機会の充実や地域社会の担い手づくりを推進します。</p>
<p>「学び」の目的は地域に還元することだけではない。生涯学習のとらえ方が狭い。</p>	1	<p>教育目標では生涯学習社会の実現をめざし、区民のだれもが、生涯を通して自ら学び、その成果をいかして生きがいをもち、豊かな人生を送ることのできる社会の実現をめざしていきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
重点事業	4 6	
<p>「重点事業」の位置づけが不明確。第1次ビジョンの「取り組み項目」と同列とすると、挙げられた内容だけでは著しく不十分。</p>	1	<p>重点事業は、今後10年間で重点的に取り組む事業として設定した8つの事業で、基本方針で示した「学校・家庭・地域との連携」、「学校教育の充実」、「生涯学習の充実」を推進します。さらに、行動計画案のそれぞれの事業を推進し、教育ビジョンの実現をめざしていきます。</p>
<p>世田谷区の学校の教員は区内在住を義務化し、地域密着型とすること。</p>	1	<p>教員の区内在住を義務化することはできませんが、施策の柱の「信頼と誇りのもてる学校づくり」や「地域との連携・協働による教育」の中で、教員の資質向上のための支援や信頼される学校経営を推進し、地域に根付いた教育を進めていきます。</p>
<p>学校やPTAの会合に出席する保護者の割合がとても低い。多くの保護者が「教育＝受験」と考えており、公教育に対する期待が低い。学校に魅力を感じていない保護者の子どもにとっても学校は退屈な場所。放課後の遊ぶ時間は塾などに奪われ、学校はストレス発散、またはストレスを抱える場になっている。</p>	1	<p>「世田谷区教育要領」に基づく教育活動の推進や、学校経営等のモデルとなる「世田谷マネジメントスタンダード」の整備・確立に取り組み、より質の高い学校教育の実現を図るとともに、学校情報の公開を充実するなど、魅力ある区立学校づくりを進めます。また、PTAの自主的な活動の活性化を支援するため、学校・家庭・地域が連携協働による取り組みの充実を図っていきます。</p>
<p>自分たちの声が反映されないので、積極的な教育の場やボランティアへの参加につながらない。また、保護者や地域で学校を支えるといった「コミュニティスクール」の考えがあまり浸透していないことや、自分たちの意見を交換するような場所がなく、地域の人と知り合う機会がないこともひとつの要因になっている。</p>	1	<p>行動計画案の「地域が参画する学校づくり」の中で、学校を支える地域のボランティア組織を再編し、地域の事情にあわせて学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりをすすめます。</p>

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
いじめ、学級崩壊、不登校は、現代の学校に関わる一番大きな社会問題であり、学校は真正面から保護者とともに向き合い、その解決には保護者全員の学校への参加が不可欠だと認識してもらい、保護者の意志や希望をできるだけ尊重し、各保護者に貢献できそうなことを自主的に考え、動いてもらうことが大事。	1	行動計画案の「信頼される学校経営の推進」の中で、多様な教育課題に対応するため、校長の学校経営力の向上や学校情報の発信など、地域とともに子どもを育てる学校運営の充実をめざします。また、「ニーズに応じた相談機能の充実」の中で、いじめや不登校等についての教育相談体制の強化にも取り組んでいきます。
重点事業の地域と共に子どもを育てるにしても、どう地域とつながっているのか、選び方もわからない。	1	行動計画案の「地域が参画する学校づくり」の中で、学校を支える地域のボランティア組織を再編し、地域の事情にあわせて学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりをすすめます。
「学校協議会」をどのようなものと認識しているのか。表面的な認識によって「再編」することは、地域社会や学校の混乱を招く。「学校支援地域本部」の導入については、一旦白紙に戻して再検討を。	1	学校協議会は、児童・生徒の健全育成 地域防災・防犯 学校の教育活動の充実の3つを目的に設置したもので、これまで地域の方々によって大きな役割を果たしてきました。今後は、これらの活動をさらに実践的・機能的に進めていくため、これまで積み重ねてきた学校協議会の取組みをもとに、世田谷らしい地域特性を活かした学校を支えるボランティア組織へ再編し、地域で学校を支える体制づくりを進めていきます。
日本語の美しさを伝えるためには、古文や和歌を教えることを求める。言語は時代により変化していくが普遍的な美しい言葉、文章を明治以降の文体から求めるのは無理がある。	1	世田谷区独自の教科「日本語」の授業では、日本の和歌や俳句などの文章や朗読を通して、深く考える力や、日本文化を理解し大切にして、継承・発展させる力・態度を育成しています。
小学校で美しい日本語を話せない教員による日本語の授業の廃止を。	1	行動計画案の「これからの社会を生きる力の育成」の中で、世田谷区独自の教科「日本語」を中心となって推進する教員の育成や指導資料を充実します。
小学校で土曜日授業をするくらいなら1学期の平日を7時間授業に。	1	授業時間や内容は、「世田谷区教育要領」に基づき、各学校が教育課程を編成します。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
<p>教科「日本語」の授業に代わり、「日本国憲法」の授業を始めてほしい。国民主権・人権の尊重・平和主義を小中学校で近現代史を含めて学ぶことは、教育目標にある国際社会で生きていく力を子どもたちは身につけることができる。そして平和主義を学ぶことで高い志、理想を持つ日本に自信と誇りを抱き、自他がもつ権利を知り、尊厳を知ることでいじめもなくなっていくのではないかと。</p>	1	<p>世田谷区独自の教科「日本語」の授業では、ことばをすべての知的活動の基盤、考える基盤と捉え、「世田谷区教育要領」に位置付けて質の高い教育を進めています。行動計画案の「これからの社会を生きる力の育成」の中で、教科「日本語」を中心となって推進する教員の育成や指導資料を充実します。また、「世田谷区教育要領」に基づく教育活動の中には、日本国憲法や近現代史に関する内容も含まれており、社会科の授業等を通じて取り組んでいます。</p>
<p>「世田谷9年教育」の実現する質の高い教育の推進のために、知育・徳育・体育の充実に「共育」の充実をプラスしてほしい。</p>	1	<p>すべての児童・生徒が共に学ぶ仕組みなどについての国や都の動向を踏まえ、今後の特別支援教育のあり方などについて検討し、その検討を踏まえて取り組みを進めていきます。</p>
<p>「学校経営」などの標準型となる「世田谷マネジメントスタンダード」なるものの内容がイメージできない。「地域の特色ある教育力や教育資源」を活かすことと、「標準型」を定めることは矛盾しないか。また、「学校経営」に標準型を観念しうるのか。</p>	1	<p>「世田谷マネジメントスタンダード」は、各学校や各「学び舎」の経営・運営についてモデルを示し、学校の管理職が変わった際も、「世田谷9年教育」の定着や、学校評価システムに基づく学校改善等を踏まえ、質の高い学校教育を継続することをめざしています。これを基盤に、各学校では地域の特性に合った学校運営を推進していきます。</p>
<p>知的障害の無い、あるいは軽度の発達障害児が、安心して落ち着いて学べる教室を公立の小学校、中学校に作ってほしい。子供たちの能力を十分に生かせる指導を受けられるよう希望する。</p>	2	<p>行動計画案の「特別支援教育の充実」の中で、障害の種別や学級形態、地域バランス、既存の学級規模等に考慮しながら、学校の増築・改築等に合わせて計画的に特別支援学級の整備に取り組んでいきます。あわせて、特別支援学級及び通常の学級における特別支援教育の指導体制等の充実を図ります。</p>
<p>通常級と同程度の授業時間数の確保や、希望者には教科書を使用した少人数制の授業の実施や通常級の授業に参加させるなど、特別支援教育の充実を望む。</p>	1	<p>行動計画案の「特別支援教育の充実」の中で、国や都の動向を踏まえ、今後の特別支援教育のあり方について検討し、その検討を踏まえて、特別支援学級の指導の内容や体制等の充実に向けた取り組みを進めていきます。</p>

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
特別支援学級とスクールカウンセラーを全校配置が望ましい。	2	行動計画案の「特別支援教育の充実」の中で、障害の種別や学級形態、地域バランス、既存の学級規模等に考慮しながら、学校の増築・改築等にあわせて計画的に特別支援学級の整備に取り組んでいきます。スクールカウンセラーは、全区立小・中学校に配置しています。
ICTを積極的に活用し、家庭とのスムーズな情報の共有に努め、各児童の興味や認知的、習熟度の違いに個別に対応した丁寧で最先端の授業を行い、学校の魅力を回復すべき。	1	行動計画案の「特別支援教育の充実」等の中で、国や都の動向を踏まえ、今後の特別支援教育のあり方について検討し、その検討を踏まえて、特別支援学級及び通常の学級における特別支援教育にかかる指導の内容や体制等の充実に向けた取り組みを進めていきます。
他区の非常勤講師や保育士補助の採用年齢は世田谷区よりゆるやかで、60歳過ぎた人でも活躍し、貢献している。学校や保育園で経験のある人をいろんな形でサポートする必要があるのではないかと。	1	行動計画案の「特別支援教育の充実」の中で、学校支援員等の配置を含め、効果的・効率的な支援体制や指導体制等の充実を図ります。
10年後の「共に生きる社会」を見据え、特別支援教育ではなく、インクルーシブ教育の充実を進めてほしい。また、看護師の派遣や学校支援員の増員など、共に学ぶための合理的配慮をしてほしい。	3	行動計画案の「特別支援教育の充実」の中で、障害の有無にかかわらず共に学ぶインクルーシブ教育システムなどについての国や都の動向を踏まえ、今後の特別支援教育のあり方について検討し、その検討を踏まえて取り組みを進めていきます。
定期的な「読書並びに書物に関わる講演と意見交換の会」の開催、「読書会」の企画・運営、「読書並びに書物」に関するエッセイの募集、読書感想文の募集を「区立図書館における交流事業の拡充」として提案したい。	1	行動計画案の「知と学びと文化の情報拠点としての図書館の充実」の中で、地域の学習拠点としての図書館機能の充実を図ります。平成26年度に策定予定の「(仮称)第2次図書館ビジョン」で中央図書館機能やネットワークの拡充など、新たな図書館像を示していきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
返却時の確認方法等の改善を望む。図書館は生涯大切な場所。心地良い図書館であってほしい。	1	図書館職員の窓口等での接遇対応について、新たな職員を配置する際に研修などを実施しています。今後とも、職員の資質・能力向上の推進に取り組んでいきます。

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
学校図書館への学校司書を終日勤務可能に。	2	学校図書館の充実につきましては校長会と連携して図書館改善検討委員会を設置し、学校図書館のあり方について検討を進めていきます。
公共図書館の館内の整備リニューアルを。	1	図書館ビジョンに基づいた、図書館サイン計画によるサイン整備や地域特性を活かした資料展示など、館内の案内や配置を工夫しています。いただいたご意見を参考に、今後とも魅力ある図書館の整備を進めます。
地域への学校図書館開放。	1	学校の安全対策の面から、開放する際に図書室への動線を確保するための施設整備等の必要など課題があります。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
中央図書館機能の強化を。特に、図書返却期限を大幅に過ぎている図書の回収強化。	1	平成26年度に策定予定の「(仮称)第2次図書館ビジョン」で中央図書館機能やネットワークの拡充など、新たな図書館像を示していきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
新中央図書館機能・ネットワーク拡充 賛成。特にそれらを介しての交流が大事。いくつかのサークルを立ち上げたい。	1	図書館ビジョンに基づき、読書活動等やその成果発表等の機会や場を創出し、読書活動等における拠点機能の充実に取り組んできました。今後は、平成26年度に策定予定の(仮称)第2次図書館ビジョンで中央図書館機能の拡充など、新たな図書館像を示していきます。
図書館のCD検索機能の改善を望む。また、CDのリクエストを断られたが、教育や学習に関わる資料はリクエストがあったら検討してもらえ制度を作ってほしい。	1	図書館資料の検索機能など、図書館に関するニーズ調査を実施し、平成26年度に策定予定の「(仮称)第2次図書館ビジョン」で中央図書館機能やネットワークの拡充など、新たな図書館像を示していきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
今後10年間の基本的な考え方を進める具体的な方法として、各種の図書館の活用がある。図書館では、一人ひとりが自分の関心や興味に応じて主体的に読書し、知識や知恵を獲得し、その結果として、世の中を生きて行く力を自然に身につけることが期待される。	1	図書館の利用状況など、図書館に関するニーズ調査を実施し、平成26年度に策定予定の「(仮称)第2次図書館ビジョン」で中央図書館機能やネットワークの拡充など、新たな図書館像を示していきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
<p>子どもたちにとって最も身近な学校図書室と学校図書館を公共図書館が支援する形で有機的な連携を。知の拠点としての学校図書館を強化することにも繋がる。図書館ネットワークを、単に公共図書館の間のみのもので考えない柔軟な思考も必要。</p>	1	<p>平成26年度に策定予定の「(仮称)第2次図書館ビジョン」で中央図書館機能やネットワークの拡充など、新たな図書館像を示していきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>中央図書館機能の強化・施設の拡充と有るが、ハードも大切で有るがソフトの部分をしっかりして欲しい。</p>	1	<p>図書館に関するニーズ調査を実施し、必要な機能とそれに伴う施設等を検討します。平成26年度に策定予定の「(仮称)第2次図書館ビジョン」で中央図書館機能やネットワークの拡充など、新たな図書館像を示していきます。</p>
<p>教育委員会にはいい16ミリフィルムが沢山ある。劣化してしまうので是非DVDにしてほしい。</p>	1	<p>教育委員会が作成した16ミリフィルムについては、DVD化を進めています。市販品を購入したものは、著作権によりDVD化は難しい状況ですが、他の視聴覚ソフトも含め、4年間のリーディング事業の「新教育センターの整備に向けた検討」の中で、利活用を検討していきます。</p>
<p>「学校の適正規模化・適正配置」は、「地域コミュニティ」と「子どもは地域ぐるみで育てること」を基調に検討してほしい。同時に区の都市計画のあり方を含めて検討が必要。教育ビジョンも「街づくりの一環としての教育ビジョン」という視点で推進すべき。</p>	1	<p>区立小・中学校の適正規模化・適正配置は、適正な学校規模を念頭に、対象となる学校や地域の状況に応じて、通学区域の見直し、学校統合や学校改築・改修などの方策をあわせて用いて、公立学校の魅力を高め、子どもたちにとってより良い教育環境の実現をめざす取り組みです。また、学校は長年にわたり地域コミュニティの活動拠点として活用され、災害時には避難所となるなど、地域に密接な公共施設であるべきと考えています。区の地域行政や都市計画のあり方なども踏まえ検討し、地域とともに子どもを育てる教育を推進します。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
<p>全学年単学級の中里小学校が学校適正配置の対象校になっていないのはなぜか。単学級に対する不安があるので、是非とも計画に加えていただきたい。</p>	1	<p>小規模校に対する方策として、今後全学年が概ね単学級で推移することが見込まれる小学校について、学校間が近接している小学校との間で「学校の統合」「通学区域の見直し」「学校施設の改築・改修」の対応方策を組み合わせ、適正規模化を図るため、「世田谷区立小・中学校の適正規模化・適正配置に関する具体的な方策（第2ステップ）」を平成25年9月に策定しました。今後とも区立小・中学校の児童・生徒数の将来動向や近隣の学校の状況などを見極めながら、子どもたちにより良い教育環境を実現することを目指していきます。</p>
<p>30人学級を実現してもらいたい。</p>	1	<p>区単独予算で各学校にチームティーチング等を行う講師を配置し、少人数教育を推進しています。なお、1学級の児童・生徒数については、国によって基準が定められています。</p>
<p>これから少子化がさらに進むと思うので、単学級、2学級ならでは、地域のシニアの力を借りた個性ある教育をすすめ、他地域からの若手の流入を増やすようにしていくべき。</p>	1	<p>区立小・中学校の適正規模化・適正配置は、適正な学校規模を念頭に、対象となる学校や地域の状況に応じて、通学区域の見直し、学校統合や学校改築・改修などの方策をあわせて用いて、公立学校の魅力を高め、子どもたちにとってより良い教育環境の実現をめざす取り組みです。</p>
<p>人権教育というのであれば、中国国内のチベット、ウイグル弾圧、北朝鮮による拉致問題などを重点的に教育を。</p>	1	<p>いただいたご意見を含め、さまざまな人権課題に関する人権教育を学校の教育活動全般を通して進めていきます。</p>
<p>人権尊重と言うが、先生たちの中はどうか。日常生活の中での指導者達に人権感覚は如何でしょうか。</p>	1	<p>区立学校の教育活動や学校運営の質を高めるには、教員の資質・能力の向上が不可欠であると考えています。行動計画案の「教員の資質向上のための支援」「豊かな人間性の育成」の中で、教職員の研修・研究体制の充実を進め、教員の資質・能力の向上、人権教育の推進を図ります。</p>



意見の概要	件数	教育委員会の考え方
<p>人権教育の一環としての国際理解教育、多文化共生教育の充実を。区内在住の外国人やインターナショナル・スクールとの交流事業などを普及する予算・制度を求める。</p>	1	<p>行動計画案の「これからの社会を生きる力の育成」の中で、さまざまな国や地域の人々との交流などを通して多様な文化に触れる機会の工夫など、世界の人々と共に生きていくことのできる資質・能力の基礎の育成に取り組んでいきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>生身の人間を知る前にネット上の偏見に満ちた意見に感化されている若者が増えている現状は非常に危険。例えば、在日差別回避に、朝鮮学校との交流の機会を持つなど、誰もが同じ人間なのだという事を子どもの内に体験を通じ、何らかの方法で学ばせて欲しい。</p>	1	<p>人権教育や「生命の大切さ」を学ぶ取り組みを推進するとともに、「ネットリテラシー醸成講座」の実施や情報モラルにかかわる取り組みを推進します。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>人権教育と道徳教育を並列的に並べているが、人権教育を人間性の涵養や道徳教育の一環としてとらえるのは誤り。現行ビジョンでは、「子ども像」と同列に「人権教育の推進」を掲げている。重点事業では扱いが軽すぎる。</p>	1	<p>教育目標では「人権尊重の精神」を基調として、すべての教育活動を推進していくとしています。重点事業の「人権尊重の推進ネットワークの充実」では、道徳教育の充実やいじめ防止対策等の推進など、「豊かな人間性の育成」を学校や学び舎・家庭・地域等と連携して取り組みを充実していきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>既存の郷土資料館等の役割をどのように位置づけるのか。また、区内の文化財の電子化はMLA連携のような形のデジタルアーカイブが想定されるが、どういった組織や人々が中心となって進めるのか。こうした仕組みは、IT化の応用問題という枠を超えて、きちんとした専門知識を持った人たちで行うことが大切。</p>	1	<p>行動計画案の「郷土を知り次世代へ継承する取り組み」の中で、郷土資料館、宇奈根考古資料室及び分室、郷土学習室などにかかる施策等を評価・分析し、区の文化関連所管等とも連携して、「(仮称)郷土学習センター」機能等の検討を進めていきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>4年間のリーディング事業</p>	46	
<p>各学校では、学校の活動を支える地域のボランティア組織を設けているが、一般住民には見えにくく、学校支援ボランティアに申し出る手続きがわかりにくい。この点を改善し、豊富な人材を活かしてほしい。</p>	2	<p>行動計画案の「地域が参画する学校づくり」の中で、学校を支援する体制を検討します。地域の事情にあわせて学校と地域の人材をつなぐ仕組みなどを充実し、地域との連携・協働による教育を推進します。</p>

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
<p>地域密着型の放送局である“FM世田谷”を使い、小中高生が世田谷のよさを口頭でアピールするなど、プレゼン力を向上させる試みとしてのラジオ局との連携もひとつの案。</p>	1	<p>行動計画案の「これからの社会を生きる力の育成」の中で、社会体験活動やボランティア活動などの社会とかかわる体験活動の充実を図るとともに、区独自の教科「日本語」を改善・充実し、児童・生徒の「自分の考えや思いを表現する力、コミュニケーション能力」の育成・向上に取り組んでいきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>ボランティアを、もっと気軽なもの、楽しいもの、と考えてもらえると保護者や地域の方に参加してもらいやすい。また、気軽に立ち寄って話しができる場所があるといい。時と場所を選ばないインターネットを活用したボランティア活動もあり。</p>	1	<p>学校を支える地域のボランティア組織を再編し、地域の事情にあわせて学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>父兄の方々は子どもさんと一緒に遊ぶことも大事。また、得意分野を活かし、月に一度、週に一度、学校に行き教える、学校では何が起きて、子どもは何を感じているのかを体感してほしい。</p>	1	<p>地域には、音楽や語学などさまざまな才能を持った方がおります。学校・家庭・地域の連携を促進し、地域で学校を支える体制づくりを進め、地域教育力の活用を図ります。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>授業でクラシックや日本の伝統音楽意外に、是非近年のポップス音楽の楽しさを伝えるべき。世田谷区には適した人材が居るので、この人的、地理的優位性を区内の子供たちに享受させない手はない。同様に英語教育でも帰国子女の活用を。</p>	1	
<p>「エピペン®」使用を教職員に任せるのは、教員・子ども双方にとり、利の有る事ではない。人命に関わる問題なので、医療機関と連携の上、有効な対策・体制を検討してほしい。また、人間の生きる基本である食に関して、スローフード協会等と連携し、学ぶ機会を提供してほしい。</p>	1	<p>アレルギーへの対応については「エピペン®」の使用をはじめ、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」に基づき対応をしています。学校、保護者、主治医との連携に努めるとともに、食物アレルギー対応研修等を実施し、学校で適切な対応を図っていきます。また、学校における食に関する指導を充実させるなど、食育の推進に努めます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
「学校支援地域本部」の検討・施行については、白紙に戻し、再検討を。	1	各地域の事情を踏まえながら十分な検討を重ね、第1期行動計画期間中の試行をめざします。
子どもを甘やかせるのではなく、子どもは子どもの範囲内での責任が有ることを教えるべき。甘やかして世間に出すのは結果として余りにも残酷。そのためには、美しいことも醜いことも含めて現実世界を理解させる試みが必要。	1	学校では全ての教育活動を通じて、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成しています。また、行動計画案の「豊かな人間性の育成」「地域教育力の活用」の中で市民としてのよりよい生活習慣や規範意識、社会の構成員としての自覚などをはぐくんでいきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
家庭と学校の義務の線引きが不明確。日本では家庭の責任が無さすぎると共に学校に求め過ぎだと思われる。	1	学校では教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養います。また、区立学校のPTA活動を通じた家庭教育の支援の実施や区の子育て支援と連携した取り組みを進めていきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
一人親家族への奨学金や無料の土曜学習（塾）などの支援を。	1	経済的な理由によって、就学困難な児童・生徒に対して、学用品費・給食費・修学旅行費などを援助しています。また、中学校では希望者を対象に土曜講習会を実施しています（教材費のみ保護者負担）。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
「4年間のリーディング事業」は重要な視点。難しい世相の中にも親もしっかり子どもそれなりに心豊かに育っていると思う。	1	福祉、保健、医療が連携して、家庭・家族の子育て力を充実させるとともに、地域や企業などと連携して家庭教育の支援に取り組みます。
「親の学びの機会」という視点を入れたことはよい。子供とともに親も成長していくことで、より質の高い教育が実現されるよう希望する。	1	

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
親子の育ちとあるが、親が働くこと、子どもを預けることが、とても前面に出ているこの頃、子どもが犠牲になっていないか気になっている。親の意見ばかりが、とりあげられることのないよう、子どもにとって何が大切かをきちんと伝えてほしい。	1	区立学校のPTA活動を通じた家庭教育の支援の実施や区の子育て支援と連携した取り組みを進めていきます。
保護者への連絡方法は、メールよりも従来のプリントや連絡帳を活用し、子どもの手を介する事で、親にかけている負担を感じ取る事をさせて欲しい。	1	保護者への連絡については、各学校・学級において、状況に応じてさまざまな方法で行われていますが、学校運営や「学び舎」での様子については、広く保護者や地域に伝わるような学校情報の発信に努めます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
「親の学びへの支援」が何を意味するのか。「親の学び」が足りないとの認識なら、区民を下に見た物言いである。	1	家庭教育に関する学習機会の提供や情報交換の充実など親同士や地域との連携を通して、家庭教育力の向上のための支援を進めていきます。 基礎的な生活習慣の獲得や子どもの発達段階に応じた親のかかわり方など、子育て家庭を支え、親子を励ますような家庭教育の支援が求められています。地域社会の一員として子育ての人のつながりを豊にするという視点から、親の学びへの支援に取り組みます。
小中9年一貫教育の拡充を希望。ハード面で問題があるならば、別々の敷地なども使用して、名称を変更すれば良い。中学生と小学生との交流を密にして大切に思いやりの心を大切にする。また、学区はつくらずに希望すればある程度その学校に入れるようにする。	1	近隣の区立小・中学校で「学び舎」というグループをつくり、義務教育9年間を一体として捉えた「世田谷9年教育」を推進しています。各学び舎で、特色ある交流事業を通して、小中が一体となって質の高い義務教育の実現に向けた取り組みを進めていきます。

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
<p>芦花小・芦花中は小中学校が共に運営されとても良い環境だと思うが、指導される先生方の「かわり」や「つながり」が見えない。もっとリーダーシップを持つ指導者を置き、施設や教育条件を活かし、世田谷9年教育を充実させて欲しい。</p>	1	<p>「世田谷9年教育」では、近隣の小・中学校のグループである「学び舎」による学校運営を行い、各学校・学び舎で特色ある取り組みを進めています。芦花小学校と芦花中学校は小中学校の校舎が一体となった教育環境を活かした交流活動などを実践しています。行動計画案の「信頼される学校経営の推進」の中で、学校経営や「学び舎」運営のモデルとなる「世田谷マネジメントスタンダード」の整備・確立をめざし、「世田谷9年教育」の定着など質の高い学校教育の推進を図ります。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>地域運営学校で小・中の連携をするのはよいが、学力テストで比較、差別するのは、ぎすぎすした教育環境を作るのではないか。これも、基本構想とはつながらない。再考を求める。</p>	1	<p>義務教育9年間を一体と捉えた「世田谷9年教育」の取り組みとして、区独自に「学習習得確認調査」を実施しています。調査結果については、各学校で分析するとともに、近隣の小・中学校のグループ「学び舎」内の学校で確認し、指導や授業の改善に活かしています。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>「世田谷9年教育」「教科日本語」それに伴う教育内容や教育活動によって、子ども達はヘトヘト。土曜授業もさらに負担。現場の職員はとてもつかれている。</p>	1	<p>4年間のリーディング事業の「教員が子どもとかかわる時間の拡充」の中で、教員が教育活動以外で負担となっている校務事務の効率化を図り、教員の時間的ゆとりの確保に努めます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>ダンスの先生で質のいい人は少ない。また、英語教育にはネイティブ教師を入れるより、アメリカも経験し、日本語もよく分かっている教師が必要。そのための教員免許が必要となると人材は得られないため、講師として導入していくべき。</p>	1	<p>小学校では、海外在住経験者や英語の専門知識のある方など英語活動教育に関心が高い方が学校担任を支援する英語活動支援員制度を導入するなど、授業の充実を進めています。また、中学生を対象として、実践的なコミュニケーションを通して英語に親しむとともに積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に向けた取り組みなどを進めていきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
<p>「スポーツ環境の整備」や「音楽やダンスなど習い事の応援」など、学校強化は、地域にあるスポーツボランティアや習い事、図書館など、子どもの活動の全てのハブとなること。そしてそれが地域の強化になる。</p>	1	<p>地域には、音楽やスポーツなどさまざまな才能をもった方がおります。学校・家庭・地域の連携を促進し、地域で学校を支える体制づくりを進め、地域教育力の活用を図ります。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>世田谷区内の学校で修身又は道徳の教育の復活を行うべき。</p>	1	<p>学校では全ての教育活動を通じて、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成しています。また、行動計画案の「豊かな人間性の育成」の中で、学校と家庭、地域が連携して、道徳教育の充実に取り組んでいきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>大蔵第二運動場でゴルフのジュニア教室を立ち上げてほしい。</p>	1	<p>現在、大蔵第二運動場では、中学生以上を対象としたゴルフ教室や、どなたでもご参加いただける個人レッスンを行っており、また区内ゴルフ練習場を会場に、小学3年生から中学生及び、18歳以上を対象にしたゴルフ教室も行っています。 今後も、ニーズに合った教室の実施など、改善・検討を進めていきます。</p>
<p>日本の歴史やすぐれている所を教えてほしい。また、思い遣り、優しさ、そして努力することの大切さも低学年の時から教えてほしい。本を読むことを勧めてほしい。色々な人の話を聞くことも大切。</p>	1	<p>区独自の教科「日本語」授業では、日本文化を理解し大切にして、継承・発展させる力・態度を育成することをねらいの一つとしており、地域の方を講師に招き、地域の歴史・文化を学ぶ取り組みもあります。また、行動計画案の「郷土を知り次世代へ継承する取り組み」の中で、郷土世田谷に興味を持ち、郷土愛をはぐくむ教育を進めていきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
<p>子どもの運動能力の低下が心配。習い事など与えられた運動などでなく、子どもが自由に子どもらしく遊べる公園整備が必要。</p>	1	<p>4年間のリーディング事業である「体力の向上と心身のたくましさの育成」の中で、体育の授業の充実や児童・生徒の体力向上に取り組むとともに、学校施設の開放や地域のスポーツ団体との連携など、子どもたちが運動に親しむ機会や場所の充実を図っていきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>今一番子ども達に必要なとされている事は、心を鍛える人間教育。社会に出ていって、人間関係につぶされない為の、相手の心を思いやり、又、叱責を受けても乗り越えられる、強い精神力を育てることが、全ての問題の基盤になる。</p>	1	<p>行動計画案の「豊かな人間性の育成」や「健やかな身体・たくましい心の育成」「これからの社会を生きる力の育成」の中で、変化の激しいこれからの社会を生きていくための基礎・基盤となる力をはぐくむ取り組みを進めていきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>「心身」のためにも、川場と日光への修学旅行移動教室等の見直しを。川場も日光も、放射線量が高い。山菜、キノコ、かんきつ類等、まだ内部被爆の可能性がある。子ども達が親になりたいと思った時になれない身体にならない様、行き先の見直し、活動内容の見直し（野外活動は行わない等）を。</p>	1	<p>移動教室の実施にあたっては、放射線量等を確認した上で、安全性に問題はないとして実施しています。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>体育を専門の先生にすることにより体力強化になる。</p>	1	<p>学校での体育授業の充実等により、子どもたちの体力向上に取り組んでいきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>あえて鍛えるべきは、個人の好き嫌いを超えた存在（自然、社会など）との共存に耐えうる忍耐力（体力、精神力共に）であり、知覚能力。技術的な“道徳教育”ではなく、“愛情”の可視化も。</p>	1	<p>行動計画案の「豊かな人間性の育成」や「健やかな身体・たくましい心の育成」「これからの社会を生きる力の育成」の中で、変化の激しいこれからの社会を生きていくための基礎・基盤となる力をはぐくむ取り組みを進めていきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>子どもの個性をみがく、金を掛けない方法を考え出してほしい。</p>	1	<p>基本的な考え方「一人ひとりの多様な個性・能力を伸ばし、社会をたくましく生き抜く力を、学校・家庭・地域が連携してはぐくむ」に基づき、子どもが「生き抜く力」をはぐくむための取り組みを進めていきます。</p>

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
倫理教育も重要。“ルール、法律に違反しなければよい”というのではなく、“社会的にいつてはいけないことは絶対しない”という倫理的教育が大切。これは家庭にも大きな責任がある。	1	行動計画案の「豊かな人間性の育成」の中で、道徳教育を充実し、人間性・道徳性ととも、市民としてのよりよい生活習慣や規範意識などをはぐくんでいきます。
抽象的な言葉を並べるより、具体的な表現をしたらどうか。「弱者へのいたわり」「他人に迷惑をかけない」の2つを徹底して教えれば、ずっと日本はよくなる。	1	基本的な考え方には「一人ひとりの個性・能力を伸ばす」とともに、「互いを尊重し協調する」視点も含まれています。また、行動計画案の「豊かな人間性の育成」の中で、人権教育・道徳教育を充実し、他者を思いやる気持ちや市民としてのよりよい生活習慣や規範意識などをはぐくんでいきます。子ども一人ひとりの多様性を尊重し、個性・能力を活かして教育目標の育てたい子ども像の実現に向けて取り組んでいきます。
「体罰」が「いじめ」に含まれる概念とは思わない。体罰は教育に名を借りた犯罪行為。いじめは、様々な背景や問題があり、一方的な暴力行為と認定することで問題が解決するわけではない。	1	研修・研究体制の改善による教員の資質・能力の向上、学校への支援体制の充実、教育相談体制の強化に取り組み、体罰やいじめ等の防止や早期対応を図っていきます。
いじめと不登校は、問題の背景も異なる。同列に論じるのは乱暴ではないか。	1	いじめや不登校対策など、問題の背景は異なりますが、子どもたちや保護者が抱える問題として総合的に捉え、「いじめ防止プログラム」の拡充や関係機関との連携・ネットワークの強化、教育相談機能の充実などに取り組んでいきます。
地方との連携を強め、田植えや稲刈り等の農業基本教育の充実をはかる。	1	学校では地域の特性を活かしたさまざまな体験活動を実施しています。農業体験をはじめ、「実物」に触れ、感じ、生命の大切さを体験する機会の充実に取り組んでいきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。



意見の概要	件数	教育委員会の考え方
最近の子ども達は、社会生活上基本的な生活習慣に経験学習が不足している。PTAの方々にも言える事。それには色々な催しに参加させ、経験を積む事が良い。	1	学校では地域の特性を活かしたさまざまな体験活動を実施しています。実物に触れ、感じ、生命の大切さを体験する機会の拡充や、社会体験活動、ボランティア活動を通じた社会性をはぐくむ取り組みを進めていきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
子どもには、いろいろな事を見せたり体験させたい。例えば校庭をきれいにして、花を種からまき、各自で花の成長を見守る。	1	子どもたちが草花や小動物とふれあい、自然体験学習など、実物に触れ、感じ、生命の大切さを体験する機会の充実に取り組んでいきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
体験・体感する機会の充実として、長野でも今も続いており評価が高く、横浜市でも取り入れた「一校一国制度」を東京五輪に向け、ぜひ実施検討して欲しい。	1	子どもたちが外国の文化や言語とふれあい、国際的な視野を持つことは大切であると認識しています。今後とも、文化や言語の異なる国際社会を実感するとともに、日本文化を積極的に紹介・発信するなど国際理解教育を推進します。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
グリーンカーテンはお金、手間をかけた割には効果的でないときく。子どもたちが草花いじりが出来るようにする手立てを考え、見直してはどうか。	1	子どもたちが「実物」に触れ、感じ、体感する機会の拡充に向け、学校の緑化運動なども活かしていきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
写真の撮影をしたり、ふれたり、そういうきっかけも教育だと思う。日本人は基礎を今大事にしていない。	1	施策の柱の「生涯を通じて学びあう地域コミュニティづくり」の中で、子どもの自己形成や自己表現のための場や機会の支援など青少年教育の充実を進めていきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
広島市などの平和教育教材や指導の在り方を参考に「核」について問題意識を得る為の教育を実施して欲しい。	1	人権教育や「生命の大切さ」を学ぶ取り組みの充実や社会科の授業等を通じて取り組んでいきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
世田谷区にはデジタルペンを駆使したデジタル教科書での学習を研究するなど、先駆的な教育研究をしている先生方が数多くいるが、そうした研究と現場での実践を強力に支援し、逆にデジタルリテラシーの不足している先生には研修を行うことも必須。	1	ICTを活用した授業を推進するためには、それを教える教員のICT活用能力の向上が不可欠です。教員の研修・研究を充実し、質の高い学校教育を推進します。さらに、教職員の研修・研究のセンター的機能や学校支援機能など、新たな教育センター機能のあり方や整備の方向性を検討していきます。
子どもも大人もゆとりが絶対必要。今の先生たちには全くゆとりがない。もっともっと子どもに接する時間を与えてほしい。	1	校務事務の軽減により、教員の時間的ゆとりの確保に努めます。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
例示の「人事、財務会計、文書システム」は全く教員に関係のない事柄。給食費収納の公会計化も時間を生まない。教員が教材研究ができ子どもとじっくり向き合う時間をとるためにも各種調査などを1/2以下にし、会議も1/2以下にすべき。10年以上前はそれで十分やれていた。	1	校務事務の軽減により、教員の時間的ゆとりの確保に努めます。また、学校への調査等の効率化や開催する会議体の見直しなどは、今後の検討課題と考えています。
「文書システムの導入」とは、どういったものを意味しているのか。文書管理規程、個人情報保護、情報公開などとの関連はどのようなものか。	1	現在、区立学校で紙資料により管理している文書事務を電子化し、事務の効率を図るものです。校務事務の軽減により、教員の時間的ゆとりの確保に努めます。
その他	8	
貧富の格差が学力の格差に直結しないようにするため、貧困家庭の子どもへの学習支援をもりこんでいただきたい。	1	経済的な理由によって、就学困難な児童・生徒に対して、学用品費、給食費、修学旅行費などを援助しています。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
学校での君が代斉唱を強制すべきでない。	1	国の定めた学習指導要領では、入学式や卒業式などにおいては、その意義を踏まえ、国歌を斉唱するよう指導するものとされています。

意見の概要	件数	教育委員会の考え方
<p>世田谷の教育ビジョンには、平和教育をきちんと位置づけてはっきり明記してほしい。“ 平和都市宣言 ”や“ 平和への願い ”をとんでも教育ビジョンにかかれなければ、区は単なるゼスチャーだけ。本気度ゼロ・やる気のない教育委員会の姿勢を区民の多くは見抜いている。政策企画課・総務課と密に連携してほしい。</p>	2	<p>平和の大切さを学ぶことは重要であると認識しています。</p> <p>国の学習指導要領では道徳教育の指導の観点として「世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。」ことが挙げられています。区としても、道徳教育や人権教育、「生命の大切さ」を学ぶ取り組みの充実や社会科の授業等を通じて取り組んでいきます。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>時間の大切さを認識することが肝要。</p>	1	<p>いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>自分の長所を伸ばして行くこと、短所を少しでも減らす努力をすることが肝要。</p>	1	<p>10年間の基本的な考え方にあるように、一人ひとりの多様な個性・能力を伸ばしながら、社会を生きていくための基盤となる「豊かな人間性」「豊かな知力」「健やかな身体・たくましい心」をバランスよくはぐくんでいきます。</p>
<p>性的マイノリティのことをちゃんとこのビジョンの中でとりあげるべき。</p>	1	<p>10年間の基本的な考え方にあるように、一人ひとりの多様な個性・能力を伸ばしながら、「豊かな人間性」「豊かな知力」「健やかな身体・たくましい心」をバランスよくはぐくんでいきます。</p>
<p>憲法99条をしっかりと身につけて仕事を。特に教育は人づくりなので、連携して行けるようパブコメはきちんと受けとめ、一般の人たちとのやりとりも大事にして頂きたい。</p>	1	<p>いただいたご意見を受け止め、よりよいビジョンを策定していきます。</p>